

表15 学修・教育到達目標と科目・履修条件の関係（社会基盤コース） 2014年度入学生

◎：主たる科目、○：付随する科目

●：いくつかの学修・教育到達目標にまたがる科目

・：基底科目、□：共通・教養科目の選択必修科目

学修・教育到達目標	能力	科目名	必修	選択				最少 必修 単位数
				A 3科目中 1科目以上	B A群を含み 34単位以上	C 5科目中4単 位（2科 目）以上	D C群以外の 左記を含み 62単位以上	
A. 地球的かつ社会的視野から多面的に物事を考える能力と素養を身につける								
A1 自然・人文・社会科学など、幅広く学問の英知を学び、地球的視野から多面的に物事を考える能力と素養を身につける	(a) ◎	◎環境の科学	コース○					2単位 以上
		○地圏の科学(20%)			●			
		○アジア学(40%)			●			
		○土木の歴史(50%)		○				
		○人文社会系教養科目						
(b) ○	○アジア学(60%)			○				
	○土木の歴史(50%)			●				
(c) ○	○地圏の科学(80%)				○			
A2 自ら心と身体健康管理ができ、人類の幸福に貢献できる人材となるために、社会や他者の視点も含めた幅広い一般教養を身につける	(a) ○	○共通健康科目		3単位以上				3単位 以上
		○人文社会系教養科目						
B. 土木技術が社会と自然に対して大きな影響を与えることを理解し、技術者として、持続可能な社会を創造するための役割と責任を理解する	(b) ◎	◎技術者の倫理	○					6単位 以上
		◎卒業研究(25%)	●					
		○ヒューマンエコロジー			○			
		○人文社会系教養科目		技術者の倫理（必修2単位）を含み10単位以上				
C. 数学および自然科学などに関する工学基礎知識を修得し、土木工学分野において応用・利活用できる能力を身につける	(c) ◎	◎数理基底科目解析	・					17単位 以上
		◎数理基底科目代数	・					
		◎微分積分および演習1	○					
		◎線形代数1	○					
		○数理専門基礎科目		上記必修の5単位を含み14単位以上				
	(d) ◎	◎土木解析学1				○		
		○土木解析学2				○		
		○応用統計学				○		
		◎数理基底科目物理	・					
		◎一般力学および演習1	□					
		◎数理基底科目化学	・					
	(e) ○	◎基礎化学B	□					
		○情報科目			3単位以上			

学修・教育到達目標	能力	科目名	必修	選択				最少 必修 単位数	
				A	B	C	D		
				3科目中 1科目以上	A群を含み 34単位以上	5科目中4単 位(2科 目)以上	C群以外の 左記を含み 62単位以上		
D. 土木材料系、構造工学系、地盤工学系、水工学系、土木計画系、土木環境系の専門知識を体系的に修得する	(c) ○	◎流れの力学(30%)	コース●					10単位 以上	
		◎水理学1(30%)			●				
		○水理学2(30%)			●				
		○土木構造物概論			○				
		○測量学(50%)			○				
		○地形情報工学(50%)			○				
	(d) ◎	◎環境の工学	コース○						
		○測量学(50%)				●			
		○環境システム工学				○			
		◎土木の力学	コース○						
		◎材料の工学	コース○						
		◎流れの力学(70%)	コース○						
		◎都市の計画	コース○						
		◎土質力学1		○					
		◎土質力学2		○					
		◎構造力学1			○				
		◎構造力学2			○				
		◎コンクリート構造学1			○				
		◎コンクリート構造学2			○				
		◎マテリアルデザイン			○				
(d) ◎	◎水理学1(70%)				○				
	◎水理学2(70%)				○				
(d) ◎	○交通システム計画				○				
	○土木計画学				○				
(d) ◎	○地形情報工学(50%)				●				
	○景観工学				○				
E. 実験を通して土木工学分野における基礎理論の理解を深めるとともに、実験結果を解析、考察、説明する能力を身につける	(d) ◎	◎土木実験1(75%)	コース○					4単位 以上	
		◎土木実験2(75%)	コース○						
	(i) ○	◎土木実験1(25%)	コース●						
		◎土木実験2(25%)	コース●						
F. 設計・演習・実習を通して専門分野における応用力を修得するとともに、自主的な学修の習慣を身につける	(c) ○	○測量学実習1(50%)					○	3単位 以上	
		○測量学実習2(50%)							○
	(d) ◎	◎土木設計演習1	コース○						
		○土木設計演習2				○			
		○シビックデザイン							○
		○構造力学演習							○
	(e) ◎	◎地域計画演習(80%)				○			
		◎土木情報処理	コース○						
	(h) ○	○プログラミング演習							○
		○地域計画演習(10%)				●			
	(i) ○	○地域計画演習(10%)				●			
		○測量学実習1(50%)							●
○測量学実習2(50%)							●		

学修・教育到達目標	能力	科目名	必修	選択				最少 必修 単位数
				A	B	C	D	
				3科目中 1科目以上	A群を含み 34単位以上	5科目中4単 位(2科 目)以上	C群以外の 左記を含み 62単位以上	
G. 土木工学における現実の問題について、工学および専門基礎知識を用いて理解・解決する能力を身につける	(d)◎	○設計学					○	6単位 以上
		◎土木工学総合講義	○					
		○都市環境工学			○			
		○水工学			○			
		○都市整備			○			
		○鋼構造学			○			
		○交通工学			○			
		○地盤工学		○				
		○地下施設工学					○	
		○プロジェクト評価(40%)			●			
		○地理情報システム			○			
		○維持管理工学			○			
		○マーケティングサイエンス					○	
		○パブリック・インボルブメント			○			
		○学外体験学習1(50%)					●	
		○学外体験学習2(50%)					●	
◎卒業研究(10%)	●							
(e)○	○プロジェクト評価(60%)			○				
	○公共経済学			○				
	○整備制度論					○		
(g)○	○学外体験学習1(50%)					○		
	○学外体験学習2(50%)					○		
H. 工学および専門基礎知識を用いて土木分野における社会の要求を解決するための能力を身につける	(d)◎	○地震防災工学			○			5単位 以上
		○水圏防災工学			○			
		○都市防災工学			○			
		◎土木工学セミナー	○					
	◎卒業研究(10%)	●						
(e)○	○地圏防災工学			○				
I. 論理的な技術文章の作成能力、プレゼンテーションやディスカッションなどのコミュニケーション能力および英語による基礎的なコミュニケーション能力を身につける	(f)◎	◎英語基底科目R&W	・					16単位 以上
		◎英語基底科目L&S	・					
		◎Reading&Writing I	□					
		◎Listening&Speaking I	□					
		○英語科目		上記を含み10単位以上				
	◎導入ゼミナール(50%)	○						
	◎土木ゼミナール(50%)	コース○						
	◎卒業研究(35%)	○						
(g)◎	◎導入ゼミナール(50%)	●						
	◎土木ゼミナール(50%)	コース●						
		○人文社会系教養科目						
J. 常に技術力の向上を目指し、自主的に継続的に学修できる能力を身につける	(g)◎	○キャリア演習					○	4単位 以上
		◎卒業研究(10%)	●					
	(h)○	○インターンシップ			○			
		○人文社会系教養科目						
K. 経済・社会・環境・時間・技術面などの制約条件のもとで、計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につける	(h)◎	◎卒業研究(10%)	●					4単位 以上